



金融庁・日本銀行における金融モニタリング業務 の連携状況

2023年6月
金融庁・日本銀行

金融庁・日本銀行連絡会

- 金融庁長官、日銀副総裁が出席。
- 半年に一度程度実施（必要に応じて随時開催）。
- 金融システム・金融市場を巡る諸情勢について意見交換。

金融モニタリング協議会



- 金融庁局長、日銀理事が出席。
- 半年に一度実施。
- 金融モニタリングの連携を深化させ、金融機関の負担軽減及び効果的なモニタリングの実現を目指し、意見交換。

検査・考査連携会議

- 金融庁、日銀の課長級が出席。
- 四半期に一度実施。
- 金融モニタリングの連携の進捗について、実務者レベルで情報共有・意見交換。
検査・考査先に関する計画調整や重点テーマについて、認識共有。



適宜
報告

マクロプルードンス実務者連絡会

- 金融庁、日銀の課長級が出席。
- 四半期に一度実施。
- 金融システムの状況について、実務者レベルで情報共有・意見交換をし、マクロ健全性の維持の観点からの規則（カウンター・シクリカル・バッファー等）を運用。

※ 大手銀行及び地域金融機関の検査・考査結果は、金融庁・日銀の間で原則共有。

※ 業界との定例意見交換会を年1回実施し、金融庁・日銀の連携やモニタリング等に係る負担軽減について意見交換。

項目	内容
リスク認識の共有・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ● 金融庁の通年・専担検査部署と日銀のオフサイト・モニタリング部署の間で定期的/機動的に意見交換を実施し、リスク認識を共有。
共同ヒアリングや資料徴求	<ul style="list-style-type: none"> ● 金融庁・日銀で共通する関心事項については、必要な深度やスピードが確保される場合、金融機関の意向を踏まえつつ、共同でのヒアリングや資料徴求を実施。
共同調査	<ul style="list-style-type: none"> ● 2021事務年度以降、①共通シナリオに基づく一斉ストレステスト、②外貨流動性、③サイバーセキュリティ等について実施。 <ul style="list-style-type: none"> — 共同調査のテーマは、金融システム上のリスクに応じて適宜見直し。また、共同調査の内容は審査対象から除外。
金融庁通年検査/日銀審査	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象金融機関の負担等を考慮し、金融庁通年検査中の日銀審査の実施時期等について調整。 ● 事前に問題意識の共有や意見交換を実施した上で、共同調査やオフサイト・モニタリングとの重複回避（調査項目の絞り込み）、提出資料や面談時間数の合理化に留意した形で、日銀審査を実施。

項目	内容
リスク認識の共有・意見交換	<ul style="list-style-type: none">● 金融庁の検査部署と日銀のオフサイト・モニタリング部署の間で定期的/機動的に意見交換等を実施し、リスク認識を共有。
金融庁検査/ 日銀考査	<ul style="list-style-type: none">● 金融機関の負担等を考慮し、金融庁検査（財務局含む）と日銀考査の実施計画について調整。また、検査と考査の実施状況等を情報共有し、問題意識を共有。
その他	<ul style="list-style-type: none">● 地域金融機関のマネロン等対策関連やサイバーセキュリティ強化に関しても、連携して取組を実施。

項目	内容
計表の統合・廃止	<ul style="list-style-type: none">● 金融庁・日銀が徴求する計表について、業界の要望も踏まえ、統計集計上の理由により対応が困難等のものを除き、統合・廃止（のべ約50計表を廃止（一部項目の廃止を含む））。<ul style="list-style-type: none">― 今後も定例的に要望を聞きつつ、見直しを継続。
提出先の一元化	<ul style="list-style-type: none">● 業界から提出を受けるファイルを日銀と共有する計表ファイルの受渡サーバーを、金融庁で開発。システム上の理由により対応が困難等のものを除き、2023年4月までに金融庁・日銀で共通する約330計表の提出先一元化を実現。<ul style="list-style-type: none">― 今後も定例的に要望を聞きつつ、対象計表の拡充について検討。
共同データプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">● モニタリングの高度化に向けた高粒度データの収集・利活用や、金融機関の負担軽減に資する既存計表の代替等について、中期的に取組を推進。<ul style="list-style-type: none">― 法人向け貸出に係る高粒度データの収集・利活用に向けた実証実験の結果等については別途公表の資料参照。

項目	内容
銀行免許・ 日銀当預取引	<ul style="list-style-type: none">● 銀行免許審査や日銀の当預取引開始にかかる審査の際に、システム関連での共同ヒアリングを実施。
LIBOR移行対応	<ul style="list-style-type: none">● 金融機関におけるLIBORの利用状況や移行対応等に関する調査、モニタリング等を実施。

年月	事項
2020年10月	自由民主党財務金融部会・金融調査会 「金融庁と日銀の縦割り打破（金融庁検査と日銀考査の一体的運用について）」公表
2020年11月	「金融庁検査・日本銀行考査の連携強化に向けたタスクフォース」設置
2020年12月	「検査・考査連携会議」設置
2021年3月	「金融庁・日本銀行の更なる連携強化に向けた取り組み」を公表
2021年6月	「金融モニタリング協議会」設置（「タスクフォース」を発展的改組）
2022年4月	「共同データプラットフォームの構築に向けた基礎調査」（外部委託調査）報告書公表
2022年6月	「金融庁・日本銀行の更なる連携強化に向けた取り組みの進捗」を公表
2022年夏	共同データプラットフォームに関する実証実験に着手
2023年4月	計表提出先の一元化を全面稼働